

CASE
04

有限会社FPF

採択年度
27 28最新モデルCNC複合旋盤
導入による生産性向上と
新規顧客開拓を推進する

最新の工作機械を導入して生産の効率化と加工精度の向上を目指し、短納期を実現しました。

代表取締役 古谷 真吾



DATA

有限会社FPF

代表者 代表取締役
古谷 真吾

所在地 〒802-0032
北九州市小倉北区
赤坂5-4-38

TEL 093-482-3470

FAX 093-482-3471

業種 機械加工業

資本金 300万円

設立 1989年

社員数 8人



1

PICKUP STORY

業容の拡大を
目指して工場を移転

北九州市門司区でバス部品の加工を手がけていましたが業容拡大を目指して2017年に同市赤坂の用地を取得して移転しました。最大の目的は生産工程の一元化です。旋盤やフライス盤などの工程を集約することで生産の効率化と加工精度の向上を目指しました。そのため移転直後に最新のCNC複合旋盤を導入し、同時に新規顧客開拓を進めました。わが社は営業マン不在ですが、現在は自動車や鉄道、鉄鋼業界など40社を超える取引先にお世話になっています。

2

PICKUP STORY

断っていた受注が
受けられるように

旋盤やフライス盤を個別に使っていたのは、どうしても時間がかかってしまいます。このため補助金制度を使ってオークマのCNC複合旋盤を導入しました。これにより直径350ミリメートルの丸鋼の内製加工ができるようになりました。これは移転前のほぼ倍の加工サイズです。

最新鋭の加工機ですから100分の1ミリメートル単位で精度が安定しますし、何よりも短納期対応できます。これまでは納期が厳しいため断っていた受注も受けることができるようになりました。

新工場に移転してから既に数社顧客が増えました。特に樹脂金型部品は精度が求められるので、当社に依頼して良かったと喜ばれています。

積極的な設備投資で複雑な加工に素早く対応する

3

PICKUP STORY

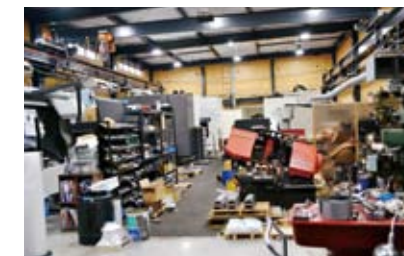
県外からも
注目を集める

設備投資により口コミで顧客が増えました。北九州には精密機械加工できる中小企業の数



少ない点も評価を高めた理由だと思います。特に複雑な3次元加工は敬遠されがちですが、当社は複合旋盤導入と前後して、北九州にはまだ多くない3次元検査装置やスキャナーも導入したので、あらゆる加工に対応できるようになりました。

現在は5軸のマシニングセンター（MC）も含めて設備はかなり充実したと自負しています。素材も鉄やステンレス、チタン、アルミとほとんどが加工可能のため、最近では関東や中部から



の受注も増えています。

常に最先端でありたいと考えており、加工プログラムも自ら工夫するなどさまざまな挑戦を行っています。

COLUMN

航空機や医療など新分野へも挑戦

QUESTION
1

機器導入で変わった
ことはありますか？

従業員のやる気、モチベーションアップにつながりました。3K工場のような会社にしたくないので、カイゼンも含めて皆のやる気向上を進めています。

QUESTION
2

納期はどの程度
短くなったので
しょうか？

1週間程度かかっていたものが3日程度で対応できるようになりました。一つの装置でさまざまな加工が可能なので段取り替えが不要になったのが大きいです。

QUESTION
3

今後の展望を
教えてください。

航空機や医療といった新しい分野に挑戦したいですね。いずれは自社開発の製品も目標に置いています。

ここがポイント

3Dで複雑形状に対応

3DCAD/CAMや3次元測定器、3Dスキャナーを駆使してあらゆる形状に対応できるよう工夫を続けています。

